

作木村市街地



第5号

昭和49年11月30日

発行人 得能長紋
 編集人 永井又太郎
 印刷所 広島県双三郡吉舎町
 佐々木印刷株式会社

学術講演 神経ブロックについて

広大麻酔科 盛生倫夫教授の講演より
 藤谷博義理事が抜萃

【総論】近年産業災害、交通地獄と社会機構の複雑化にともない、「疼痛」に悩ま

される患者が増加している。特に中国の「ハリ麻酔」の紹介等で西洋医学における神経ブロックを再認識する機運が現われてきた。本講演中の神経ブロックとは、図①の如く痛覚伝導路の一部を薬物的に遮断することを意味している。(表1、表2参照)

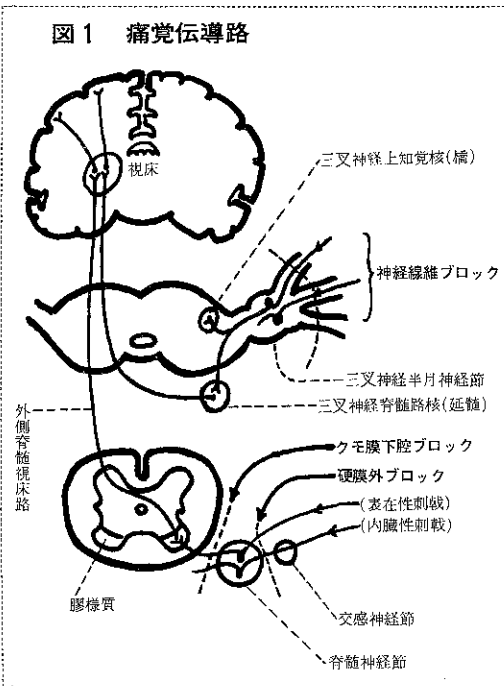


図1 痛覚伝導路

ブロックに使用する薬剤はキシロカイン、カルボカイン、プロカインを中心とした局所麻酔剤と九六〇等の神経破壊剤の二種類に分けられる。局所麻酔剤は繰り返し返え

表-1

表在性:皮膚・粘膜などに刺激ある時の痛み	深在性:内臓臓器痛など刺激ある時の痛み
末梢性:末梢に刺激ある時の痛み	中枢性:中枢に刺激ある時の痛み
反射性:刺激と離れた部位に感じられる痛み	中枢性:中枢に刺激ある時の痛み
中枢性:中枢に刺激ある時の痛み	中枢性:中枢に刺激ある時の痛み
中枢性:中枢に刺激ある時の痛み	中枢性:中枢に刺激ある時の痛み

表-2 痛みの治療法

原因の除去	刺激発生の部位の除去 刺激を発生する病変原因の除去 刺激発生機序の除去 (たとえば血管収縮、筋痙攣、発痛物質など)	外科的手術 内科的治療 理学療法 局所麻酔剤による神経ブロック 外科的手術による神経切断
痛みの伝達経路の遮断	神経化学的遮断 神経の物理的遮断	局所麻酔剤 神経破壊剤による神経ブロック 外科的手術による神経切断
疼痛感受性(痛覚)の異常	鎮痛剤、鎮静剤、精神安定剤、精神療法	

なることとさえある。従って目的の神経組織に確実に的中していることが必須の条件である。前述のプロカインをテストとして少量使用して範囲を確かめた上で、アルコールその他の神経破壊剤を注入するのが望ましい。また、少しでも疑問があるような場合は絶対に破壊剤を使用してはならない。さて、神経ブロックを実施するに当って何科がこれの担い手になるべきかについては特に制限はないが、使用する麻酔剤や神経破壊剤が何らかの障害を惹起することが期待されるわけであるから緊急事態が発生した際の蘇生術を十分に理解した上で施行する必要がある。換言すれば救急救命の背景があつてこそ初めて九六〇の治療効果が得られることとなる。

し注入可能であるが、中でもキシロカインは浸潤性が強いので、目的の神経の周辺部に注入しておけば十分効果を得るといふ特長がある。一方プロカインやカルボカインは浸潤能力が小さいので適確に目標部位に刺入しなければならぬ。

ついで神経破壊剤は神経線維のみならず、尚閉組織も同じ条件で破壊するから、時には注入部の壊死及び炎症を惹起して神経ブロックを施行したにもかかわらず、かえって疼痛を増悪せしめる結果と

(次頁へ続く)

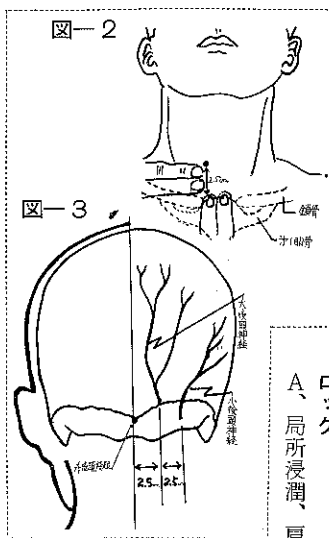


図-2
図-3

【各論】神経ブロックは表3の如く多くの方法があるが、下線を施したブロックが比較的容易に実施されるものである。その中で、現在あまり普及していないが有効と思われるものを二、三紹介してみよう。(表4参照)

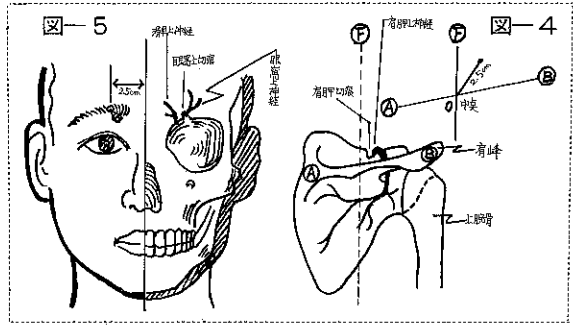
表-4

神経ブロックの処方例

1) 麻酔剤を用いる場合	1%キシロカイン3ml+リンデロン2.0等 1%塩プロ 3ml+リンデロン2.0等
2) 神経破壊剤を用いる場合	99.6%エチルアルコール 0.5~1.0ml (減菌) 3%フェノール 0.5~1.0ml (減菌)

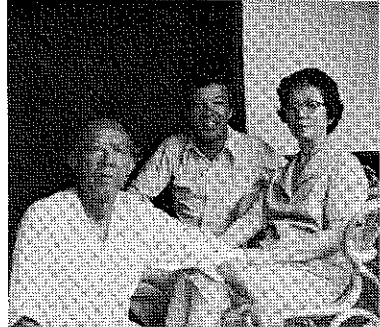
表-3

神経ブロックの種類	
半月神経節ブロック	副脊上神経ブロック
三叉神経の枝ブロック	肋間神経ブロック
舌咽神経ブロック	坐骨神経ブロック
迷走神経ブロック	旁脊椎神経ブロック
(上喉頭神経ブロック)	(頸・胸・腰・仙骨神経)
顔面神経ブロック	硬膜外ブロック
後頭神経ブロック	クモ膜下ブロック
腕神経ブロック	
交感神経ブロックの種類	
星状神経ブロック	腹腔神経節ブロック
旁脊椎の交感神経ブロック	(腰部・胸部)



1. 星状神経ブロック 図②の如き刺入点で頸動脈を外側に圧排して椎体側面に位置する神経節に注入する。効あるときは同側のHorner症候群が現われる。合併症①気胸②嘔声、③上肢の麻痺、④薬物の血管内注入。
2. 後頭神経ブロック 図③の如き刺入点を使用する。合併症は薬物の血管内注入以外は特にない。

3. いわゆる五十肩に対する神経ブロック
A、局所浸潤、肩峰突起下、上腕二頭筋長頭腱関節包内に注入する。
B、肩胛上神経ブロック、
図④の如く肩胛棘から肩峰に至る線とこの中点から



双三医師会館から度々電話があり、私に巴杏に何か一筆かいてくれとのことでしたが今日までことわり続けてきました。本日(十一月二十五日)中央病院の藤谷先生が我があばら家を訪れられ、月末までどうしても何か書いてくれと原稿用紙をおいてかえられました。私はいやいやながら引受けました。私は、生来の毒舌家ではあるが、文章の拙きことは自分が一番よく知っておるからです。
戦争中農村の不景気のため広島

脊柱に平行な線との交差によって生ずる外上角の二等分線上を交点より二・五センチメートル離れた点が刺入点である。針先が肩胛骨から外れないことが合併症予防のコツである。合併症①気胸②出血 C、星状神経ブロック

随筆
づいひつ

4. 眼窩上神経ブロック 図⑤の如く眼窩上切痕を確認した上で注入する。合併症①出血②眼瞼浮腫
5. その他 癌末期の疼痛やカウザルギー等の特殊な疼痛に対しての硬膜外神経ブロックやクモ膜下ブロックは紙面の都合上省略する。

保険診療の
つれづれと医療

中村 伸 久先生

双三医師会館から度々電話があり、私に巴杏に何か一筆かいてくれとのことでしたが今日までことわり続けてきました。本日(十一月二十五日)中央病院の藤谷先生が我があばら家を訪れられ、月末までどうしても何か書いてくれと原稿用紙をおいてかえられました。私はいやいやながら引受けました。私は、生来の毒舌家ではあるが、文章の拙きことは自分が一番よく知っておるからです。
戦争中農村の不景気のため広島

図保施行されて以来、国保保険医をやめずに今日までやっておる者は、現在県下では私一人かと思っております。
昭和二十八年七月二日スクーターの免許を貰って月始めの日曜日フラウが「今日は遊びに出ないで保険を書きなさい」と命令しました。私は人から命令されるとカッとなるたちで、私はこっそりスクーターの荷台に酒一本つけて蒸発しました。高田郡式敷の義妹の家

新炎症・腫脹緩解酵素剤

ダーゼン錠

「タケタ」 消炎・腫・血腫・粘液融解

武田薬品工業株式会社

抗動脈硬化剤
抗キニン性・抗遅延型炎症反応因子性
血管透過性亢進阻止剤

ANGININ

BANYU PHARMACEUTICAL CO., LTD

者さん諸共くりこんで、午前三時頃まで飲み明かしました。

翌日は二日酔い状態で、小原庄助さんが身代をしようとした朝寝、朝酒朝湯のうち、朝寝、朝湯は全員が楽しましたが、さすがに朝酒を楽しんだ人は私を除いて誰もいませんでした。というのは、私は幹事であるため前の晩緊張していて余り飲んでいないという証明になるのではないかと自負しています。

翌朝は雨は上るどころかその雨足は少し激しさを加えたようでした。午前十時旅館出発、赤山高原大山を経て米子市にて昼食をとったが、雨のため折角の赤山、大山の景観が眺められなかったのは残念でした。米子市から途中足立美術館へ立寄り、日本画を主とした陶器、彫刻等を鑑賞をしましたが、何ととっても圧巻は一万坪と称する庭園で、その美しさは後方の自然の山々とマッチした、人工美と自然美の調和で感嘆の声を上げました。そこから松江市にて約一時間休憩して一路三次市へ向った。

三次市到着は予定通り午後六時森脇にて夕食、もはや夕食時には酒も湯原温泉程に飲む者もなく、晩酌程度に止めて食事を終わり午後九時吉舎到着、かくして楽しい年中行事の一つが終わったのでした。明年は幹事一任にて、行先を全く不明にして予定を知っているのは幹事の私と、運転手だけというミステリー旅行を計画していますので、その時の旅行記を吉舎会会のごなたかに書いていただくことにしています。

旅行記を吉舎会会のごなたかに書いていただくことにしています。



中村 伸久 先生

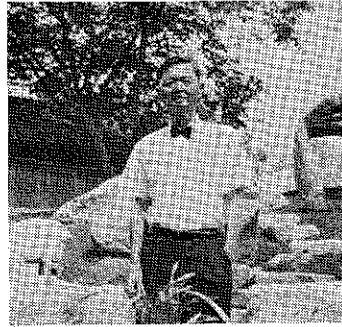


原籍 明治四十一年一月一日生
住所 島根県飯石郡赤来町上赤名
三次市大田幸町一六三九
略歴 昭和十年三月
昭和十二年十月一日
昭和十二年十月一日
現地開業
昭和十三年十一月二十六日
広島陸軍病院に心石
昭和十五年二月十九日
解除

長男 東京在住 果物商
法大社会部卒
次男 岡山市在住 会社勤務
立命館大理学部卒

次女 嫁して可部町在住
三男 日大泌尿器科勤務
日大医学部卒
趣味 カメラ・読書

星田 政之先生



明治四十年十一月二十五日生
住所 双三郡吉舎町敷地
旧制三次中学より広島高等学校を経て昭和九年岡山医科大学を卒業。昭和十三年より陸軍軍医中尉として北支、比島を転戦し、昭和二十年現住所にて開業。現在に至っています。家族は妻と妻の母、子供は女六人で内一人が未婚、男一人の長男は広島大学医学部卒業後、現在母校第一内科に在籍しています。孫は十名以上いると思えますが、多いので正確な数はさだかではありません。

生涯の内忘れ得ぬ思い出といえは、戦既に敗色濃いつ頃、部隊は敗走を重ねていました。その頃部隊長が女をつれて山中に入っていました。折しも女が腹痛を来し伝令が葉をとりにきました。即座に小生曰く「戦斗に携わっている兵隊にさえる葉がないのに、部隊長と戯れている女にやる葉はない」と。翌日部隊長より「星田軍医中尉は、最後尾(即ち敗走中)ですので最前線」にあって部隊の傷病兵の収容に当れ」との命令が下った。砲弾のとんでくる薄気味悪さは実際に味ったものでないと分りません。「ヒューン」という音がすると次の瞬間それが皆目見当のつかないところへ「ドドン」と落下するのですから、身を伏せていてもその恐ろしさは筆舌に尽し難いのです。部隊長への憎悪と共に敗戦のみじめさを必々と味い、二度と戦争をすることのないように思い始めたのはこれがきっかけでした。平和の有難さを尊く思っている現在の心境です。

医師会

だより

昭和四十九年 九月より
昭和四十九年十一月まで



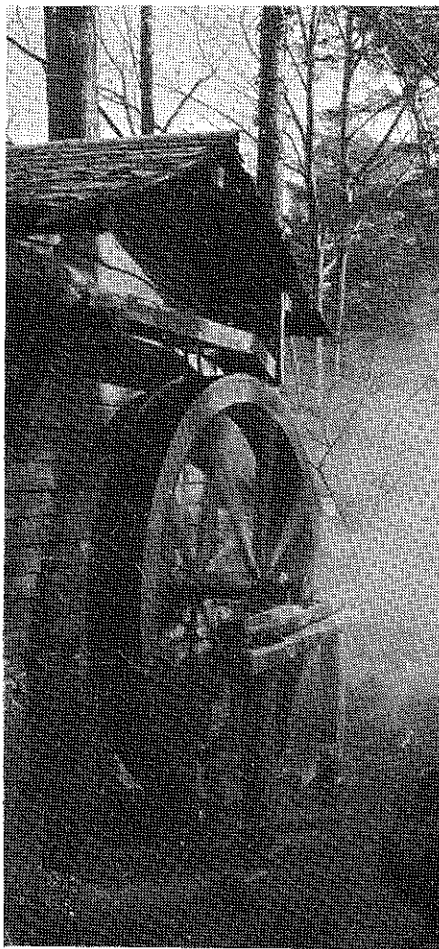
場所 県医師会館
鳴戸副会長出席
9月28日(土)

・広島県内科会幹事会
場所 広島グランドホテル
午後四時より
当地区より箕岡源二先生が幹事に決定(学術担当)
・保険点数改訂説明会
午後四時~六時
場所 双三地区医師会館
鳴戸副会長指導説明
10月17日(木) 学術講演会
午後七時
場所 双三地区医師会館
演題と講師
「心筋硬塞」
広大第一内科助教授
吉田正男先生

10月19日(土) 社保担当理事協議会
場所 県医師会館
田中理事出席
10月24日(木) 請求事務説明会
午後四時
田中理事指導説明
11月11日(月) 双三地区医師会館
職員の日宿直廃止
広島総合警備保障株式会社が警備担当
11月15日(金) 第七回「巴杏」編集委員会
午後六時三十分
場所 石田無線階上
出席者 顧問野村節也先生、田中・藤谷・永井各理事、箕岡・小川(泉)各先生
協議事項
一、スポンサー依頼の件
箕岡先生に一任し、四メー
カーから一カ年契約で、各社
一万円ずつ一社宛合計四万円

9月26日(木) 学術講演会
午後七時
場所 双三地区医師会館
演題と講師
「狭心症」
広島大学第一内科助教授
吉田正男先生
9月26日(木) 社保担当理事協議会

ふるさを見つめよう



をして貰う事。その為巴杏各号一部ずつ計四部を箕岡先生に参考までに届けておく事。

二、表紙写真掲載の件
第五号は、三和町を掲載予定とし、もし不可能な場合は作木村にする。この件の交渉は、田中理事が担当する。

三、学会日より
・藤谷理事に交渉方一任する
・謝礼の件について
今後原稿を依頼する場合原則として次の如くする。
教授—一〇、〇〇〇円
助教授—五、〇〇〇円
講師—
四、ブロック日より
・十日市医会十月二十七日の旅行記
小川(泉)先生より鴨戸副会長に原稿依頼する。
・吉舎医会十一月十六日の旅行記
田中理事が原稿交渉。

五、随筆
・野島宏先生：事務局より連絡。
十一月二十一日(木) 学術講演会
午後七時

六、会員紹介
・山崎先生：事務局より交渉
・星田先生：田中理事より交渉
・中村(伸)先生：藤谷理事より交渉
・森増先生：事務局より交渉
・横山先生：予備としておく
(家族写真のない場合は、田中理事に連絡し、佐々木印刷を通して撮影のこと)

七、医師会だよりならびに編集後記は、永井理事が担当。
八、その他
発行年月日、昭和四十九年十一月三十日とする。
原稿締切 同年十一月三十日とする。

場所 双三地区医師会館
演題と講師
「特発性心筋症」
広大第一内科助教 吉田正男先生
11月29日(金)
・「青色申告」および「みなし法人」の説明会
午後五時～六時
場所 双三地区医師会館
講師 統括国税調査官 占部矩生氏
上席国税調査官 清水静夫氏
・学術講演会
午後七時より
場所 双三地区医師会館
演題と講師
テーマ「ペインクリニックについて」
広大麻酔科教授 盛生倫夫先生
(永井記)

編集後記



晩秋とは言え、時折り寒風が比叡山の頂上より吹きすさび、すでに初冬を感じる昨今です。

早いもので巴杏も誕生して満一才を過ぎました。今日までの会員御各位のご協力に心から感謝しています。

殊にこのたびは、広大麻酔科盛生教授の日常我々にとって密接な疼痛問題に関するご講演を賜わり、その要旨を、藤谷博義理事によって掲載できたことは、今後の日常の診療に大いに役立たせていただく事が出来る事と思えます。

斯くしてこの巴杏も満一カ年を過ぎ、ヨチヨチ歩きの現況ですが、「這えば立て、立てば歩めの親心」で、どうか今後ともよろしくご指導、ご鞭撻の程を祈ります。

本年も残り少なくなりました。どうか会員御各位ご健康にてよき新年をお迎え下さるよう祈りつつ 擲筆します。

(永井記)

消化器系鎮痛・鎮痛剤 Daipin®

上腹部痛に制酸剤の効果持続に...

ダイピン錠

一般名 N-メチルスコポラミン・メチル硫酸塩 識別番号 106

第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号

CERM 社 代理店

鎮痛・抗炎症剤

バンブラミン® カプセル

一般名 = 塩酸チノリジン (単位当り ¥28.00)

製造 = 吉富製薬株式会社
販売 = 武田薬品工業株式会社